

GST 献血 献眼 献腎 骨髓移植 セミナー 2025/2/28

14:00~16:30

GST 献血 献眼 献腎 骨髓移植 (福井 清太 委員長) セミナーが

若松河田の東京都赤十字献血センター4階セミナールームで開催された。

キャビネットから森ガバナー (以下 G)、阿部元 G、石井元 G、上野第一副地区 G ら

が出席し、ライオンズメンバー合計 63 名が参加した。

来賓のコメントとして

東京都赤十字血液センター 事業推進第一部長 鹿野千治氏

コロナ後、献血に取り巻く環境の変化があり、学生の献血量は戻ってきているが、

企業献血はコロナ前の水準まで回復していない状況です。ライオンズクラブの

献血呼びかけ活動からの献血量が確保されていることは、より重要になっています。

第一部

① **公益社団法人日本臓器移植ネットワーク 広報 啓発事業部 部長 松田尚明氏**

日本は、臓器提供・移植について 100 万人あたり 0.9 人と非常に少ない。

移植は年間約 7,600 人<提供を待って死亡する方は 8,400 人が実態である。

移植希望者 16,000 人/年 → 移植を受けられる人 600 人/年

移植は約 4% にとどまる。

グリーンリボン キャンペーンに参加して運転免許証などで意思を示すことが大切。

臓器提供に関する意識や意思表示を促していく。

② 公益社団法人 日本アイバンク協会 理事長 澤 充 氏

角膜移植について平成 22 年から臓器移植法が改正。親族優先提供が可能になった。

角膜移植のさまざまな手術方法を解説した。結びのコメントとして、人は目からの情報
が 80%です。失明を回避することが眼科医の使命。

第二部

① 東京都赤十字血液センター 事業推進一部

血液推進課 推進二係長 郷原貴利 様

献血の現状は、40 代～50 代の献血者が中心で 20～30 代の新規献血者が減少して、
今後医療体制が崩れるかもしれない状況。東京は人口も多く安定的な量を確保でき
る。コロナ明けは、企業献血を中心に行なっている。

献血啓発のために中学、高校等で献血セミナーを開催している。献血カードは廃止
へ、ラブラッドのアプリで予約、献血結果を配信する方向となっている。

今後、①関係団体との連携強化、②企業献血強化していくバス 1 台 50 献血が目標。

③将来の献血基盤の確立に向けた各年齢層等への献血推進。

② 公益財団法人日本骨髄バンク講演 元理事 大久保英彦 様、

柴山さんから

骨髄バンクの現状と課題をテーマに講演。

夏目雅子さんが活躍した時代には骨髄バンクがなかった。本田美奈子さんは稀な白血病だった。池江璃花子さんは、兄弟間で骨髄が一致したので円滑に治療できた。

現在ドナー登録 約 5 万、患者登録者 1,723 名。ドナー年齢は 20～55 歳まで。若年層の登録が少ない。5 年後にはドナー不足となる。お願いとして、ドナー休暇制度の導入と寄付クラウドファンディング協力、情報の拡散依頼。

③ 元患者様の体験談 俳優・モデル 樋口大悟 様

～発症と回復の体験談～

2003 年 9 月、25 歳急性白血病と診断され入院。抗がん剤投与。

2004 年 4 月、完治し退院。

2005 年 8 月、再発。

2008 年 7 月、30 歳 病状が悪化。骨髄移植を決断。

関西在住の女性とマッチして移植成功。

2013年11月 移植から5年経過、完治。

現在47歳。発症回復の体験談を語った。

映画🎬 みんな生きている ～二つ目の誕生日～

ダイジェスト版を上映後、「僕のヒーロー」を朗読。

骨髄を移植した日を二つ目の誕生日とする。生きていることに感謝していると結んだ。



セミナー後の GST 献血 献眼 献腎 骨髄移植 委員会 集合写真